

磯松中学校だより No. 2

令和5年5月23日
東広島市立磯松中学校

学校教育目標「確かな学力を身に付け、心豊かで活力にみちた生徒の育成」

ホームページアドレス https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/school/isomatsu_chu/index.html

メールアドレス isomatsu-chu@city.higashihiroshima.hiroshima.jp



参観日・学校教育説明会・PTA総会 5月2日(火)

たくさんの保護者の皆様に授業の様子を見ていただき、ありがとうございました。学校説明会では、学校経営方針について説明しました。今年度のテーマは「UD(ユニバーサル・デザイン)の学校づくり」です。510名の生徒一人一人が過ごしやすい環境やシステムを整え、自立できるよう鍛えていきます。今年度開設した「スマイル・ルーム(SSR)」は困り感や悩みを抱えている子どもたちを支援する部屋です。ペンキを塗ったり、パーテーションを製作したりと生徒とともに作業しています。学校へお越しの際はぜひ覗いてみてください。また、引き続き行われたPTA総会では、令和5年度事業計画が承認されました。今後も引き続き本校の教育活動とともに、PTA活動にご協力をよろしくお願いいたします。



手作りのパーテーション

『ミニビブリオバトル』 5月10日(水)

5月10日(水)の5・6時間目に、各クラスで「ミニビブリオバトル」を行いました。自分がすすめる本を、聞いている人が読みたくなるように紹介し、みんなが一番読みたくなった本はどれかを競うゲームです。まず、班で紹介し、勝ち残った代表がクラスで紹介し、投票によってクラス1位の「チャンプ本」を決めました。今年度は全クラス原稿なしで聞き手を見ながら表現することにチャレンジしました。そして、各学年でクラスチャンプによる「学年ビブリオバトル」も行っています。着実に表現力が身に付いてきています。また、友達の発表を熱心に聴く姿に磯中生の「絆」を感じました。本を知るとともにお互いの良さを知る貴重な機会となりました。



部活動での頑張り 4月22日～5月11日

団体競技の結果です。各部目標を設定し、ひたむきに頑張っています。県選手権予選大会の報告は次号で行います。



第39回東広島市中学校春季大会	ソフトテニスの部	女子団体	第3位
	剣道の部	男子団体	第3位
第40回全日本少年軟式野球大会	東広島地区大会		第2位
第54回東広島市中学校陸上競技大会		総合の部	第1位
		女子の部	第1位
		男子の部	第1位
第17回びんごふくやま中学生ソフトテニス交歓大会	女子団体の部		第1位
			第3位

令和5年度 磯松中学校 学校評価自己評価表

今年度の教育の目標と達成への方策を次のように計画しています。
学校教育目標の「確かな学力を身につけ、心豊かで活力に満ちた生徒の育成」
 を目指し、保護者・地域から信頼される学校づくりを推進します。

評価計画						
項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目	目標値
学力の向上を図る学校	1	基礎・基本の確実な定着を図り、自ら学ぶ生徒を育成する。	(1) 生徒が「楽しい」と感じる授業づくりをする。	○学習規律を徹底させ、落ち着いた雰囲気の中で生徒が主体的に学習に取り組むことができる授業づくりをする。	①学習・生活実態調査において、全教科の「学ぶことは楽しい」の回答を「はい」とする生徒の割合	60%
			(2) 主体的・協働的に取り組める生徒を育成する授業づくりをする。	○ユニバーサルデザインを生かした環境づくりを土台としてユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業を実践することで、「わかった・できた」喜びを実感させ、さらに学びたいという学習意欲を向上させる。	②主体的・協働的に取り組む資質能力の意識を測るアンケートの割合	80%以上
			(3) ICTを活用した新しいスタイルを確立し、効果的な活用を充実させる。	○タブレット端末を授業展開や家庭学習等に活用する。 ○時間割や授業の配信等、個に応じた活用場面を選択させる取り組みを推進する。 ○校務等にICTを効果的に活用し、業務改善を図る。	③ICTを授業・学級活動・生徒対応・校務等に、効果的に活用しようとした教職員の割合	100%
規律と活気のある学校	2	豊かな心と健やかな体を育て、活力ある生徒を育み、不登校の未然防止に努める。	(1) 豊かな人間性と社会性を育てる。	○JASMIN(東広島スタンダード)を徹底する全校的な気運を高める。 ○生徒の主体的な活動(部活動、生徒会活動、学校行事、ボランティア活動等)を仕組み、自己肯定感を高める。	④「自分には良いところがある」と回答する生徒の割合(アンケート)	80%以上
			(2) 「わかった・できた」という達成感を持たせ、学ぶ意欲を高める。	○授業に集中できる環境を整備する。 ○授業の流れを示し、見通しを持たせる。 ○授業内容を焦点化し、やりきらせる。	⑤各教科の授業満足度(アンケート)	80%以上
			(3) 不登校の未然防止、解決に向けた取組を充実させる。	○週1回程度、定期的の不登校等生徒支援会議を開催し、不登校等生徒の状況を共有するとともに、取組方針等について協議する。 ○スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、心のサポーター、関係機関等を含めたチーム対応の推進。	⑥不登校生徒の人数(割合)	25人以下(5%以下)
			(4) 体力づくりの推進と生活習慣の確立を図る。	○新体力テストの結果を分析し、課題を踏まえた補強運動を実施する。 ○健康教育、食育の充実を図る。	⑦新体力テストで県平均を上回る種目数	過半数以上
組織的運営をする学校	3	組織的な学校運営体制を確立し、保護者・地域に信頼される学校をつくる。	(1) 広島県の15歳の生徒に身に着けてもらいたい力を育む。	○一人一人の進路の保障に向けて、基礎的な学力の定着をはかる。 ○職業講話や職場体験活動を通して、望ましい職業観や勤労観が育成され、自己決定する力を育む。	⑧学校評価アンケート 「磯松中で学んでよかった」 「自分の考えをまとめたり発表することができる」	生徒92% 生徒90%
			(2) 地域に関かれ、地域に貢献する学校にする。	○各種通信、メール配信等で、学校の様子を丁寧に伝える。 ○学校行事等の教育活動の充実やボランティア活動の推進、日々のあいさつ等で地域に貢献する。	⑨学校の様子をメール配信 地域の人材を活用した活動	120回 10回以上
働き方改革の推進	4	学校における業務改善・業務削減を推進するとともに、教職員の働き方に対する意識を変える。	(1) ワークライフバランスを図りながら、働きがいのある魅力のある職業にする。	○機能的な学校組織運営をし、ボトムアップを大切にした改革をする。 ○業務の効率化、先を見通した計画的な進んで、勤務時間の短縮をはかる。 ○頼みやすい雰囲気をつくり、チーム意識、チーム対応で充実感を共有する。	⑩教職員アンケート 「学校は働きがいがある」 「働きやすい職場である」	90%

6月・7月の主な行事予定

6月3日(土) 体育大会
 5日(月) 振替休日
 7日(水) 高等学校説明会(3年生)
 10日(土) 呉賀茂地区大会(剣道)
 14日(水) 習熟度テスト③(3年生)
 NRTテスト(1・2年生)
 16日(金) 磯中 CheerUp モーニング

17・18日(土・日) 呉賀茂地区大会
 (バレー・テニス・野球)
 19日(月) 部活動停止
 22・23日(木・金) 前期中間テスト
 7月1・2日(土・日) 陸上県選手権大会
 14日(金) PTA教育講演会
 15・16日(土・日) 通信陸上
 18日(火) 磯中 CheerUp モーニング

スクールカウンセラー(火)・スクールソーシャルワーカー(火・金)・心のサポーター(月・水・金)に勤務しております。
 ＊面談を希望される場合は、中学校へご連絡ください。(Tel428-6675)